

特別
子12
3643
71(12)

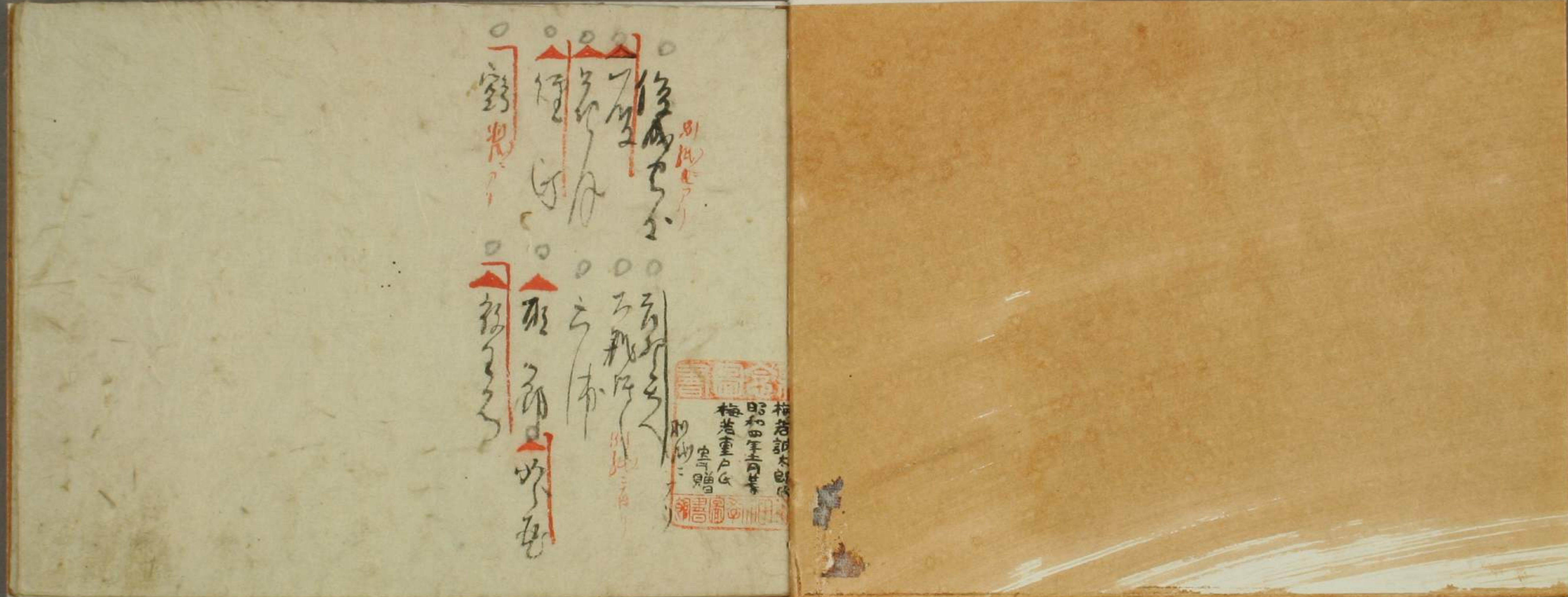


梅香
梅香
梅香
梅香
梅香
梅香

修
修
修
修
修
修

修
修
修
修
修
修

修
修
修
修
修
修



後成忠成

お初ノ時ハ忠へ向
も中お初有也

初同お切出は梅掛りる永幸時ハたゞもそとお切
 いたる後ハお年あふえに往え三同返し也と後何う
 別ゆのト用いりよトツレ向ツと後正備もトツレ心掛
 ニミツスツと後正我もトツレ心掛正情のト木いふ歌
 ころトニミツスツと後正キツバに開梅もニツサ切
 也ニ若あつと正出山櫻即とト開後りもト左ノイワ
 カス振ミシテツノキワへゆるコシシメナカラ神ヲモシはまの
 せゆをト左ノコシ川ツツシカト又室ヤト袖もナカラ正也
 小櫛のト角ツトリ遠入也ト左へゆりツツルキワヨリ正柱え
 へゆらたうせと小世リツと開返し中へゆり正入也
 カシモ糸もらし、ちゆ正也、也し旅ゆりもト之明名のト
 ニミツ開後りもトサ込初完後る也ト左と右とま
 じあんとおとまもつ書をまきつたがせは松の華乃
 中ツカシル也正本のつとらとゆりシテ根をニツ名の
 後ト正、用そつ程ハ、よも後きそ、の、あ、ゆ、う、あ、ま、
 ナシ角ラトリカサシ左へゆりエカあニテは雲のトツレ、せん
 以、妙ト、あ、ま、ミナカラニテは、キワ、ゆ、正、用、梅、も、ツ
 トメニテ根えニテトツレ、正、用、あ、ま、あ、ま、よ、ト、右、ツ、ウ、ケ
 後、身、ま、を、ト、後、カ、リ、り、の、ト、ま、カ、し、お、つ、た、ま、な、ま、
 梅

正の公海又の上元人の言葉ト云へるひ人ト云ふより
面シトクモ爲符也ト云わたり世をのれ上はチカコリ
シラぬえやう、法の力カ先返シ中、ナリシモ
正、此ノ障ヲ爲多キ者ニ与リテ、亦即正形以テ
イミテ、西高アリ格ニ見エ、ミテトモ、正の形トシテ
然レシ南モハ、正ト云ケキ、
右ノリ心、故多キト云ふハ、心何くるトイハ、正カカス
志ナリヤト云フカカカカカカト云フ止ラシ居フ、
ワケトナリ、
コレ上イルニカトナリ、
右ノ上、
ノケスル、
也、
ナヤト正、
格ヲ左ニカサレ、
格更ニナリ、

シラ格をカシウケ、任希、
流、
左、
二、
右、

○ 教子之文

ヨコケア、
此、
レテ格え、
正、
何、
何、
正、
正、

